

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

外国語 科目 論理表現 I

教科：外国語

科目：論理表現 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（Vision Quest English Logic and Expression I Standard 教科書準拠ワークブック（啓林館））

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や読解、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これららの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理表現 I

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| <p>○日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができる。</p> <p>○日常的な話題や社会的な話題について、必要な背景知識・語彙・表現を用いて自分の考えを述べる技能を身に付けることができる。</p> <p>○日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。</p> | <p>○日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現することができる。</p> <p>○学校外での生活や地域社会などの日常的な話題について、自分のことを伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。また、その内容について整理し、クラスで発表することができる。</p> | <p>○自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする積極的に関心することができる。</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとする積極的に関心することができる。</p> |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|---|----------------|--------------|------|---|--|---|---|---|------------------|
| | | 話すこと (やりとり) | 話すこと (発表) | 書くこと | 読 | | | | | |
| <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文型と動詞：5つの文型とくThere +be動詞+主語の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分けことができる。 時制：基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝えることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。</p> <p>書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。</p> <p>書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。</p> | <p>Lesson 2-1 ~ Lesson 3-2 (文型と動詞①② / 時制①②)</p> <ul style="list-style-type: none"> Workbook Exercises 1で基礎力養成を図る。 教科書Try it out! 1, 2で理解度を確認する。 Workbook Exercises 2は宿題とし、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 教科書Example Bankの例文で、各Lesson終了後に小テストを行う。 各学期に1~2回Interview Testを実施する。 | ○ | | | | <p>【知識及び技能】</p> <p>外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| 定期考査 | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了形：現在・過去・未来の完了形概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。 様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。</p> <p>書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。</p> <p>書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。</p> | <p>Lesson 4-1 ~ Lesson 5-3 (完了形①② / 助動詞①②③)</p> <ul style="list-style-type: none"> Workbook Exercises 1で基礎力養成を図る。 教科書Try it out! 1, 2で理解度を確認する。 Workbook Exercises 2は宿題とし、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 教科書Example Bankの例文で、各Lesson終了後に小テストを行う。 各学期に1~2回Interview Testを実施する。 | | ○ | | | <p>【知識及び技能】</p> <p>外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 定期考査 | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了形：現在・過去・未来の完了形概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。 様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。</p> <p>書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。</p> <p>書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。</p> | <p>Lesson 4-1 ~ Lesson 5-3 (完了形①② / 助動詞①②③)</p> <ul style="list-style-type: none"> Workbook Exercises 1で基礎力養成を図る。 教科書Try it out! 1, 2で理解度を確認する。 Workbook Exercises 2は宿題とし、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 教科書Example Bankの例文で、各Lesson終了後に小テストを行う。 各学期に1~2回Interview Testを実施する。 | | | ○ | | <p>【知識及び技能】</p> <p>外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 定期考査 | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： (FLEX ENGLISH COMMUNICATION II (増進堂))

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これららの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|---|---|
| ○英語の4技能外国語の5領域（聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 | ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 | ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|--|--|---|-----------------------|---|------|---|---|---|------------------|
| | | 聞 | 読 | 話 （ － や ） | 書 | | | | | |
| 1 学 期 | 【知識及び技能】 受け身の不定詞、受け身の進行形に関する事項を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ「アニメ聖地巡礼」について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えることができる。やりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。 | ・Lesson 1 Anime Pilgrimages ①本文の概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ③文法事項を理解させる。 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| | 【知識及び技能】 語彙や文法の決まりに関する事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えることができる。やりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。 | ・Lesson2 Iwaya Keisuke and Pursuit of Dreams ・Lesson3 The Surprising History of Salt ①本文の概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ③文法事項（動名詞、間接疑問文）を理解させる。 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。 ・一人1台端末の活用 等 ・パフォーマンステスト | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 20 |
| 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 2 | 【知識及び技能】 語彙や文法の決まりに関する事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えることができる。やりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。 | ・Lesson4 A Future World, with or without Sea Turtles ・Lesson5 The Psychology of Waiting in Line ・新出語句の確認をする。 ・文法事項の確認をする。 Part 1：関係代名詞 Part 2：過去完了形 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| | | | | | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | |
|---------|------------------------------------|------|-------|
| 科目（講座名） | コミュニケーション英語Ⅲ | 3単位 | 学校必履修 |
| 教科書 | NEW STREAM English Communication Ⅲ | 担当教諭 | |
| 副教材 | 英単語ターゲット1900 | | |

学習の目標

知識・理解力、思考力・表現力、協働力を外国語学習を通じて、高める。

授業内容

様々な題材の150語程度の英文を読み、言語や文化に対する理解を深め、英文に対する英問を適切な文法や単語を用いて答える。週に一度、ALTとのコミュニケーション活動を通してコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

学習方法

単語テスト、英問英答、音読活動、ディクテーション、発表活動、英文精読、英文速読。

評価の観点

| | |
|-----------------|--|
| 関心・意欲・態度 | 積極的に英文や教員からの発問を理解しようとしている。 積極的に他者とコミュニケーションをとろうとしている。 |
| 表現の能力 | 英語のスペリング、文法内容を適切に表現することができる。 英語の質問に対して、流暢に答えることができる。 |
| 理解の能力 | 英文の意味を正しく理解することができる。 英語の音声を正しく理解することができる。 |
| 言語や文化についての知識・理解 | 英語独特の文化や、文の構成、表現方法について理解することができる。 |

評価方法

日常の授業態度
 発問に対する回答の評価
 課題等の提出状況
 定期考査・課題テスト・小テスト

年間計画

| 学期 | 月 | 配当時間 | 単元 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|----|----|------|---|--|--|
| 1 | 4 | 6 | Skill1～10 Chapter1 Chapter2 Chapter3 | A Real Life <i>Maneki Neko</i> ~ All Work and No Play | ・言い換え、逆説、結果、要約、結論などのディスコースマーカ、スキャニングなどの英文を読み解く上でのスキルを身に着けながら、英文を読んでいくことが必要になる。 |
| | 5 | 6 | | “ Steve and Ryoma ” | |
| | 6 | 7 | | “ Uluru, Not Ayers Rock ” | |
| | 7 | 7 | | “ Community Design ” | |
| 2 | 9 | 7 | Chapter4 Chapter5 Chapter6 Chapter7 | “ The Life of Murasaki Shikibu ” | 代名詞が具体的にどの単語を示しているか、また文章の中での対比、so that を使った原因と結果についての表現を学びながら、英文を読んでいく必要がある。 |
| | 10 | 7 | | “ Microfinance ” | |
| | 11 | 7 | | “ The Air Powered Car ” | |
| | 12 | 7 | | “Are Children the Best Learners?” | |
| 3 | 1 | 7 | Chapter8 | “ Seed Balls ” | 例示・列挙・新情報の追加についてのディスコースマーカを学び、言い換え表現・要約・結論表現に注意して、英文を読んでいく必要がある。 |
| | | | Chapter9 | “ Creativity ” | |
| | | | Chapter10 | “ Mutual Understanding of Different Cultures ” | |

| | | | |
|---------|---|------|-------|
| 科目（講座名） | 英語表現Ⅱ | 2単位 | 学校必履修 |
| 教科書 | MY WAY English Expression Ⅱ New Edition（三省堂） | 担当教諭 | |
| 副教材 | UPGRADE 英文法・語法問題 UPGRADE 英文法・語法問題 完全演習 標 準編 | | |

学習の目標

高校2年生までの英文法の基礎を学びながら大学入試に対応できる英文法力を身に付けさせる。

授業内容

講義形式、ペアワークなどの様々な活動を組み込んだ授業形式を取り入れる。また、演習問題を解答させながら、問題の解き方のコツを学べるようにする。

学習方法

付属の参考書、文法書を読んで理解させる。また、暗記だけでなく、なぜその解答になったのか、理解度を高めるように学習させる。

評価の観点

| | |
|-----------------|--|
| 関心・意欲・態度 | 問題、課題などに積極的に取り組んでいるかどうか、評価する。 |
| 表現の能力 | 客観式問題を身につけた上で、英作文問題ができるかどうか評価する。 |
| 理解の能力 | 文法の知識を正しく理解できるか、説明できるかどうか評価する。 |
| 言語や文化についての知識・理解 | 英文法の内容に含まれている、ニュアンス、丁寧な表現などを学習しているかどうかを評価する。 |

評価方法

定期考査、小テスト、提出物等で評価する。

年間計画

| 学期 | 月 | 配当時間 | 単元 | 学習内容 | 学習活動とその留意点 | |
|----|---|------|---------|---|---|------------------------------------|
| 1 | 4 | 4 | 重要構文の学習 | 無生物主語構文や強調表現等の様々な構文について学ぶ。 | 入試問題、テキストの問題を解かせ文法知識を身に付けさせる。英文法書を読ませながら、理解させ、解説・説明を聞いて、解答の根拠を理解させる。 | |
| | | 5 | 時制 | 動詞の変化、英文法における動詞の活用、変化方法について学ぶ。 | | |
| | | 6 | | 態 | | 助動詞では、助動詞の種類を学びつつ、様々な表現方法について学習する。 |
| | | 7 | 助動詞 | | | |
| | | | | | | |
| 2 | 9 | 3 | 不定詞 | 大学・短大入試の一般で問われる問題の項目であるため、基礎から学習させる内容になる。またテキスト、副教材の問題を解きながら大学入試の過去問題を解答させ、実践力を身に付けさせる。仮定法は、仮定法過去と仮定法過去完了について学習させながら、様々な仮定法の表現について学習する。 | 入試問題、テキストの問題を解かせ文法知識を身に付けさせる。英文法書を読ませながら、理解させ、解説・説明を聞いて、解答の根拠を理解させる。 留意点としては、学習する項目が多いため、文法項目を整理させ、理解させることを重視しながら、取り組ませるようにする。 | |
| | | 3 | 動名詞 | | | |
| | | 10 | 3 | | | 分詞 |
| | | 3 | 比較 | | | |
| | | 11 | 3 | | | 関係詞 |
| | | 3 | 仮定法 | | | |
| | | 12 | 3 | | | 疑問文と語順 否定・省略・強調 |

| | | | | | |
|---|---|----------------------------------|--|---|---|
| 3 | 1 | <p>4 4 4 4 6</p> | <p>代名詞 主語と動詞の 一致 接続詞 前置詞</p> | <p>大学入試問題は普通の授業でなかなか、扱いにくい項目であるが、まとめとしてしっかり学習させる。</p> | <p>入試問題、テキストの問題を解かせ文法知識を身に付けさせる。英文法書を読ませながら、理解させ、解説・説明を聞いて、解答の根拠を理解させる。</p> |
|---|---|----------------------------------|--|---|---|

| | | | |
|---------|---|------|------|
| 科目（講座名） | 英語演習（英語演習 a） | 2 単位 | 自由選択 |
| 教科書 | | 担当教諭 | |
| 副教材 | 英語長文演習シリーズ SWITCH4 New Edition 2022 大学入学共通テスト英語（リーディング）対策問題集 | | |

学習の目標

- ・ 大学入試問題の長文読解演習に取り組み、これまでの学習で培った語彙や文法の知識を活用して、論理的な思考力を習得する。
- ・ 様々なテーマの大学入試問題を通して、文化、自然科学、社会問題などについての知識と理解を深める。
- ・ 英文の要約問題によって、実践的な技能を習得させる。

授業内容

350～500 words の中堅私大レベルの長文を読解する。辞書を活用して予習することを前提とし、授業では重要語句の意味を確認し、要約や設問によって内容理解を確認する。

学習方法

- ・ 英文を読んで大意を把握してから、辞書を用いて単語・熟語等の意味を調べ、内容に関する設問に解答する。精読から速読につながるような学習を行う。

評価の観点

| | |
|-----------------|---|
| 関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 予習（語句の意味調べと設問への解答）に取り組んでいる。 ・ 様々なテーマに興味を持ち、積極的に読み進める姿勢がある。 |
| 表現の能力 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容に関する日本語や英語の質問に、適切に解答できる。 |
| 理解の能力 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 長文の内容を正確に論理的に理解することができる。 |
| 言語や文化についての知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・自然科学・産業・社会問題などの様々なテーマに関心を持ち、幅広い知識を身につけることができる。 |

評価方法

定期考査・予習への取り組み・授業態度・出欠席などを総合的に判断して評価する。

年間計画

| 学期 | 月 | 配当時間 | 単元 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|----|----|------|--|--|--|
| 1 | 4 | 4 | Unit 1 Unit 2 | 中堅私大レベルの長文読解演習 ① コーチとビジネスマネージャー ② 動物園 | <ul style="list-style-type: none"> ・語彙力、読解力を高めるために、予習を徹底する。 ・語彙や設問への解答を確認しながら、パラグラフごとの内容把握を指導する。 ・論理的な文章を精読する力を養う。 ・様々なテーマの文章を読ませ、題材の背景を解説することによって、興味関心を持たせる。 ・英文の要約問題で、理解力の向上を図る。 |
| | 5 | 6 | Unit 3 Unit 4 | ③ 技術革命とメディア ④ ランニングシューズ | |
| | 6 | 6 | Unit 5 Unit 6 | ⑤ 資源リサイクル ⑥ グローバル化 | |
| | 7 | 4 | Unit 7 | ⑦ 大学生の外国語履修選択 | |
| 2 | 9 | 6 | Unit 8 Unit 9 | 中堅私大レベルとハイレベルな長文読解演習 ⑧ 慈善活動 ⑨ 異文化間の結婚 | <ul style="list-style-type: none"> ・語彙力、読解力を高めるために、予習を徹底する。 ・語彙や設問への解答を確認しながら、パラグラフごとの内容把握を指導する。 ・徐々に文章の難易度を上げながら、速く正確に読む力を養い、精読から速読へと成長させる。 ・幅広い背景知識を身につけさせる。 ・英文の要約問題で、理解力の向上を図る。 |
| | 10 | 8 | Unit 10 Unit 11 | ⑩ エネルギー ⑪ ある羊飼いの生き方 | |
| | 11 | 8 | Unit 12 Unit 13 | ⑫ インターンシップ ⑬ 昆虫のフェロモン | |
| | 12 | 6 | Unit 14 Unit 15 Unit 16 | ⑭ 生物多様性 ⑮ 空間領域 ⑯ 消費者の選好 | |
| 3 | 1 | 4 | Unit 17 Unit 18 Unit 19 Unit 20 | ⑰ 愛情の必要性 ⑱ 精神と身体 ⑲ チョコレートの歴史 ⑳ 睡眠不足 | <ul style="list-style-type: none"> ・1・2学期に習得した技能を活用して、実践的な読解演習に取り組ませる。 |

| | | | |
|---------|---|------|------|
| 科目（講座名） | 英語演習（英語演習 b） | 2 単位 | 自由選択 |
| 教科書 | | 担当教諭 | |
| 副教材 | SPRINT 4 英語総合問題集 2022 大学入学共通テスト英語（リーディング）対策問題集 | | |

学習の目標

- ・ 比較的平易な長文教材を用いて読解演習に取り組み、これまでの学習で培った語彙や文法の知識を活用して、論理的な思考力を習得する。
- ・ 様々なテーマを扱った論理的な文章を通して、文化、自然科学、社会問題などについての知識と理解を深める。

授業内容

300～400 words の入試入門レベルの長文を読解する。辞書を活用して予習することを前提とし、授業では重要語句の意味を確認し、設問によって内容理解を確認する。また、文法事項の復習やリスニング、論理的思考のトレーニングを行う。

学習方法

- ・ 英文を読んで大意を把握してから、辞書を用いて単語・熟語等の意味を調べ、内容に関する設問に解答する。精読から速読につながるような学習を行う。

評価の観点

| | |
|-----------------|---|
| 関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 予習（語句の意味調べと設問への解答）に取り組んでいる。 ・ 様々なテーマに興味を持ち、積極的に読み進める姿勢がある。 |
| 表現の能力 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容に関する英語の質問に、適切に解答できる。 |
| 理解の能力 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 長文の内容を正確に論理的に理解することができる。 |
| 言語や文化についての知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・自然科学・産業・社会問題などの様々なテーマに関心を持ち、幅広い知識を身につけることができる。 |

評価方法

定期考査・予習への取り組み・授業態度・出欠席などを総合的に判断して評価する。

年間計画

| 学期 | 月 | 配当時間 | 単元 | 学習内容 | 学習上の留意点 |
|----|----|------|--------------------|--|--|
| 1 | 4 | 4 | Unit 1 Unit 2 | 入門レベルの大学入試長文問題演習 1. スポーツとデータ分析 2. 新しい発明品 | <ul style="list-style-type: none"> ・語彙力、読解力を高めるために、予習を徹底する。 ・語彙や設問への解答を確認しながら、パラグラフごとの内容把握を指導する。 ・論理的な文章を精読する力を養う。 ・様々なテーマの文章を読ませて、題材の背景を解説することによって、興味関心を持たせる。 ・Logic Section において英語で考える力を養う。 ・様々な situation のリスニング問題に取り組みさせる。 |
| | 5 | 6 | Unit 3 Unit 4 | 3. 消費社会の第4段階 4. 動物の権利 | |
| | 6 | 6 | Unit 5 Unit 6 | 5. リベラルアーツを学ぶことの大切さ 6. 個人主義の歴史 | |
| | 7 | 4 | Unit 7 | 7. 春の葉の出現の進捗 | |
| 2 | 9 | 6 | Unit 8 Unit 9 | 入門～標準レベルの大学入試長文問題演習 8. エッセイと社会変革 9. アメリカの貧富の格差 | <ul style="list-style-type: none"> ・語彙力、読解力を高めるために、予習を徹底する。 ・語彙や設問への解答を確認しながら、パラグラフごとの内容把握を指導する。 ・徐々に文章の難易度を上げながら、速く正確に読む力を養い、精読から速読へと成長させる。 ・幅広い背景知識を習得させる。 ・Logic Section において英語で考える力を養う。 ・様々な situation のリスニング問題に取り組みさせる。 |
| | 10 | 8 | Unit 10 Unit 11 | 10. インターネットの利点 11. 生活賃金 | |
| | 11 | 8 | Unit 12 Unit 13 | 12. @（アットマーク）の誕生 13. 脳と習慣 | |
| | 12 | 6 | Unit 14 Unit 15 | 14. アフリカゾウの認識力 15. 人口移動 | |
| 3 | 1 | 4 | その他 | 過去問等を使った標準レベルの実践演習 | <ul style="list-style-type: none"> ・1・2学期に習得した技能を活用して、実践的な読解演習に取り組みさせる。 |

| 科目（講座名） | 実用英語（実用英語） | 2単位 | 自由選択 |
|---------|--|------|------|
| 教科書 | | 担当教諭 | |
| 副教材 | 英検総合トレーニング2級 新試験対応版 英検分野別10分ドリル2級 新試験対応版 SWの王道大学入試4技能試験対応コア表現トレーニング上級編 | | |

学習の目標

実用英語技能検定2級合格に向けて

- 1、英文法（特に完了形、不定詞と動名詞、関係詞、比較、仮定法）を学び、読解・作文に応用できる。
- 2、語彙・表現を習得し、長文を読んで内容を正しく理解できる。
- 3、リスニング演習を繰り返し、聞く力を身につける。
- 4、2次試験対策として、スピーキング力を身につける。

授業内容

英文法の確認と演習（1）未来完了/過去完了進行形（2）関係詞（3）分詞/不定詞（4）劣勢比較/動名詞（5）仮定法
語彙・表現の習得
長文読解、リスニングの演習と解説
2次対策インタビュー練習

学習方法

例文を活用して、それぞれの文法事項についての理解を深め、問題演習に取り組む。
2級レベルの語彙・表現を覚えて、小テストを繰り返し、定着させる。
長文、リスニングの英文章を精読し、内容を正しく理解できるようになる。
2次対策として、漫画を使って状況を英語で説明し、自分自身の意見が英語で言えるようにする。

評価の観点

| | |
|-----------------|---|
| 関心・意欲・態度 | 積極的に問題に取り組む姿勢がある。また、英語で積極的に状況を説明し、自分自身の意見を言おうと努めている。 |
| 表現の能力 | 表現したい内容を英語で正しく言ったり書いたりできるようになる |
| 理解の能力 | 長文の内容を読んだり、聞いたりして正確に論理的に理解することができるようになる |
| 言語や文化についての知識・理解 | 文化・自然科学・産業・社会問題などの様々なテーマに関心を持ち、幅広い知識を身につけ、自分自身の考えを深めることができるようになる。 |

評価方法

| |
|--|
| 単語や表現に関する小テスト ライティング課題等の提出 定期考査 インタビューテスト |
|--|

年間計画

| 学期 | 月 | 配当時間 | 単元 | 学習内容 | 学習上の留意点 | |
|----|----|------|----------------------------|---------------------------------------|--|-----------------------------|
| 1 | 4 | 2 4 | 英文法演習 長文読解演習 リスニング演習 | 英文法：未来完了形/過去完了進行形 長文読解 リスニング演習 | 【英文法】 ・教科書の例文を基に文法のポイントを理解し演習問題に取り組み定着を図る。 ・その際にそれぞれの類似する文法項目の違いを比較することで理解を深める。 ・また、日本語訳と英文を比較し文の構成の違いを理解させ、スムーズに英作文ができるようにさせる。 ・最終的には、トピックに合わせて文法事項を使って、英文章を書けるようになることを目標とする。 【長文読解・リスニング】 ・語彙力、読解力を高めるために、予習を徹底する。 ・語彙や設問への解答を確認しながら、パラグラフごとの内容把握を指導する。 ・論理的な文章を精読する力を養う。 ・様々なテーマの文章を読ませて、題材の背景を解説することによって、興味関心を持たせる。 ・コア表現トレーニングにおいて英語で考える力を養う。 ・様々な situation のリスニング問題に取り組みさせる。 | |
| | 5 | | | 英文法：関係詞 長文読解 リスニング演習 | | |
| | 6 | | | 英文法：分詞/不定詞 長文読解 リスニング演習 | | |
| | 7 | | | 英文法：劣勢比較/動名詞 長文読解 リスニング演習 | | |
| 2 | 9 | 2 8 | 英文法演習 長文読解演習 リスニング演習 | 英文法：仮定法 長文読解 リスニング演習 | 【インタビュー】 ・これまでに学んだ表現を活用して目の前の状況を英語で伝えるようにする ・社会問題に目を向けて、自分自身の意見を持ち、それを英語で伝えられるようにする。 | |
| | 10 | | | 実用英語技能検定 2 級受験 2 次対策 話す力の演習 | | 2 次対策 状況説明演習 インタビュー演習 |
| | 11 | | | 英文法演習 長文読解演習 | | 受験した 1 次試験の振り返り |
| | 12 | | | 発表活動 | | 2 級レベル長文読解問題演習 |

| | | | | | |
|---|---|---|-----------|---------------------|--------------------------------|
| 3 | 1 | 2 | リスニング問題演習 | 大学入試共通テストのリスニング問題演習 | 1, 2 学期で学んだ内容を生かして、リスニングに取り組む。 |
|---|---|---|-----------|---------------------|--------------------------------|